

SJIT 第 50 期通常総会 in 金沢

2016 年 5 月 22 日・23 日／金沢ニューグランドホテル



足田会長

SJIT・一般社団法人日本インテリア設計士協会の記念すべき第50期通常総会は5月22・23日、北陸新幹線開通で賑わう石川県金沢市で開催された。当日は、北は仙台、南は熊本の各支部協会から総勢63人が集まったが、今回は順序を若干変更し、総会に先立ち、総会会場からほど近い尾山神社と玉泉院丸庭園を見学した。総会は午後4時から金沢ニューグランドホテル“パラッツォ”で開催され、足田会長の挨拶に続き、熊本地震の犠牲者と、協会の先駆者の霊に黙祷を捧げたのち議案審議に入り前年度の事業並びに会計報告、監査報告に続いて本年度の事業計画と予算案が審議され、全て、理事会を経て作成された原案が満場一致で可決承認並びに決定された。総会の審議は順調に進んだが、インテリア設計士資格検定試験の受験者数低迷、並びに、各支部協会における会費徴収率の低下などによる赤字決算に話題が移り、対策として、受験増・合格率アップのための「ブロック別実技講習会」の実施、支部会員一人ひとりの認識度を高めるための毎年更新」などが報告され、本部・支部、役員・会員、すべてが一丸となって赤字脱却をと、会長自ら力強く

訴えた。

また、50期の総会開催にタイミングを合わせて発行された「室内設計テキスト＜造作ディテール標準図集＞」（本号新刊紹介参照）と電子巻尺（メジャー）ともいえるレーザー距離計が記念品として参会者全員に贈られた。

会場受付には「誠意の箱」が置かれ、熊本地震への義捐金が募られ、さらに「誠意の箱」は交流会のテーブルを一巡後、その場で熊本県・山野支部長に手渡された。



総会会場風景

見学は3班に別れ・・・

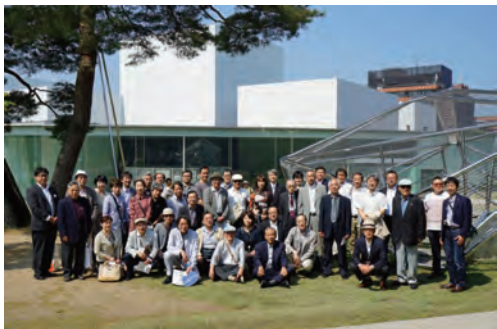


一日目、総会に先立ち全員で見学した尾山神社同神社は加賀藩祖の前田利家公と正室お松の方が祀られています。

翌日の観光・見学は、全員で「金沢21世紀美術館」を見学後、①ひがし茶屋街コース②金沢城・兼六園コース③長町武家屋敷コースに別れ、「まいどさん」といわれるボランティアガイドに案内され、それぞれに楽しんだ後、金沢シティホテルの「底曳き割烹“もんぜん”」で合流し、和やかな昼食後、来年、「鳥取」で再会することを約束し解散した。

★なお、総会の構成員は全国支部協会から選抜された「代議員」ですが、一般会員は、発言権はありませんが参加はできます。

来年は5月13日・14日に鳥取県で開催されますので、所属支部に問い合わせ、たくさんご参加ください。



金沢21世紀美術館（右）2004年10月にオープンした、円形ガラス張り、館名のとおり新しい試みが一杯の美術館です。この前で全員揃って記念撮影、以後①・②・③コースへ。

①ひがし茶屋街（下）卯辰山山麓を流れる浅野川の川岸には、今もキムスコ（木虫籠）と呼ばれる美しい出格子のある古い街並みが残り、五木寛之の「朱鷺の墓」の舞台として知られており、2001年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、「町並み文化財」として保存されている人気観光スポットの一つです。



一日目、尾山神社の続きに訪れた玉泉院丸庭園第三代藩主・前田利常により寛永11年(1634)作庭が始まり、第五代・綱紀や十三代・濟泰など歴代の藩主により手を加えられながら、廃藩時まで金沢城内に残っている庭園です。

②兼六園（下・中央）百万石前田家の庭園として造られた、日本三名園(他は岡山市の後楽園、水戸市の偕楽園)の一つです。庭園としての「宏大・幽邃・人力・蒼古・水泉・眺望」の六つの条件が兼ね備わっているとところからの命名です。

③長町武家屋敷跡界隈（下）長町界隈は、かつて藩士が住んでいた屋敷跡で、土塀の続く街並みの中で今も市民生活が営まれています。石畳の小道を歩けば、当時の雰囲気を感じられます。



SJIT 通信

一般社団法人

日本インテリア設計士協会

編集：日本インテリア設計士協会 会報編集室

〒541-0059 大阪市中央区博労町1-6-14

Tel. 06-6262-1488 Fax. 06-6262-1553

E-Mail. sjit@jp-interior.or.jp

発行責任者：足田 友一 編集担当：元山 ゆたか

第 56 回インテリア設計士資格検定試験実施

7 月 9 日・10 日／全国 17 会場で

第56回目のインテリア設計士資格検定試験が夏本番となった7月9日・10日に全国12支部協会・17会場で実施された。試験初日は、長期予報を裏切るかのような大雨が全国を襲い、交通機関のダイヤに乱れがみられたが大きな混乱はなく、各会場での試験には影響なかった。

受験・合格の結果は別表のとおりで、受験者(前年比122%)、合格者(同124%)、ともに昨年を上回る結果を得た。

試験問題についてはインターネットのホームページで見ることができが、「2級実技課題」は「私室のインテリアデザイン計画」である。課題の空間概要は、南側壁面の右側に2.25m×0.45mの凸部スペース、中央にバルコニーに出られる引違窓、左側には380mm角3段のガラスブロック窓を配し、西側壁面には900mm角の引出し窓、北側壁面にはガラスブロック窓1か所と片開きの出入口を設けた13.8畳の空間である。また、東側壁面を造り付け家具スペース(3.6m×0.65m)としたもので、平面計画、造り付け家具、パースと椅子のスケッチ、コンセプトならびに仕上表を作成するというものであった。床面積及び形状、窓の位置などの変更の他は例年同様の要求内容のため、受験者への指導も行き届き、ほぼ全受験者が平均点(64)に近い結果であった。

「2級学科試験」は19問で例年より多かったが、1問の解答数が少なく149アイテム、19問のうち新問題：改定問題：旧問題＝9：7：3の比率で、若干難しいかと思われたが平均点は74.2でほぼ例年どおりであった。

「1級実技課題」は「マンションのリノベーション計画」で、子供が独立した50歳代半ば夫婦の、妻の母を引き取るためのインテリアデザインという設定で、将来の車椅子生活をも考慮するよう求められた。

「1級学科試験」は事前発表の3つのテーマから1台が当日発表され、800字～1000字にまとめるという論文形式で、「日本人の生活において、家庭内の日常災害にはどのようなものがあるか列挙し、それぞれの安全対策について意見を述べなさい」が出題されたが、残念ながら合格ラインすれすれの論文が多かった。



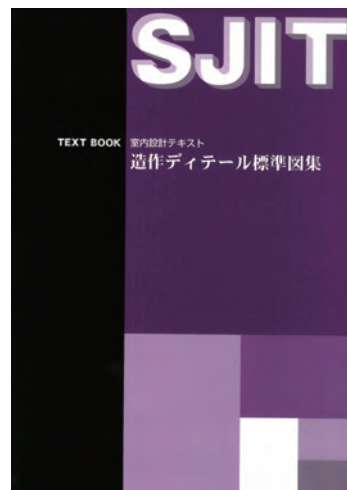
大阪会場の試験風景

	認定	1 級		2 級		合計	合格
		2科目受験	1科目受験 実技 学科	2科目受験	1科目受験 実技 学科		
宮 城	0	0	0 0	58	0 0	58	40
福 島	-	-	- -	-	- -	-	-
埼 玉	0	2	0 0	45	0 1+④	52	42
神奈川	-	-	- -	-	- -	-	-
富 山	-	-	- -	-	- -	-	-
石 川	0	1	0 0	32	0 0	33	19
愛 知	0	2	0 0	87	0 ⑤	94	73
京 都	2	0	0 0	367	1 0	370	282
大 阪	0	1	0 0	26	1 0	28	24
兵 庫	0	1	0 0	5	0 0	6	6
奈 良	0	1	0 0	37	0 0	38	36
鳥 取	0	0	0 0	2	0 0	2	2
広 島	0	0	0 1	21	1 0	23	11
山 口	-	-	- -	-	- -	-	-
高 知	0	0	0 0	53	4 0	57	47
長 崎	-	-	- -	-	- -	-	-
熊 本	0	0	0 0	53	0 0	53	32
合 計	2	8	0 1	786	7 1+⑨	814	614

※ 「1科目受験」の○数字は、初回受験から1科目のみ受験、他は不合格科目受験。「合格」は2科目とも合格し、資格登録できる人を示す。

新 刊 紹 介

『室内設計テキスト＜造作ディテール標準図集＞』



当協会の「目的及び事業」は定款の第3条に「この法人は、インテリアに関する設計及び生産・施工技術の向上を図ることにより、住生活の改善向上に寄与することを目的とする」と謳われています。そしてその目的を達成するために(1)インテリアに係る設計及び生産・施工技術に関する調査研究(2)同・指導教育(3)同・作品の公開展示(4)同・図書・資料等の編さん刊行etc. が事業として列記されています。

その(4)に相当する書物として本年度新たに「室内設計テキスト＜造作ディテール標準図集＞」を発刊しました。

本書は、インテリアの施工において、躯体（建物の主要な構造体、骨組み）と下地、それに仕上げの組み合わせを知る必要があります。床、壁、天井と開口部などの各種造作や造り付け家具との関連、「取り合い」と「納まり」が発生します。機能、性能、施工・生産的に上手な「納まり」を生み出すことがインテリア設計ではきわめて重要です。このような「取り合い」や「納まり」を良くするための各種ディテールとその構成を分かりやすく図解した、インテリア関係者には必携の一冊です。もちろんこの図集から試験問題として採用されることもありますが、できることならば、この最新刊をテキストに各支部協会、主に2級資格者を対象とした勉強会を実施し資格のレベルアップを図っていただければと思います。

支部協会紹介のページ

KIS 熊本県インテリア設計士協会

今年の熊本は自然の脅威に直面させられた。一つは熊本地震。震度7が2回、その後3か月で1900回を超す余震。家屋の倒壊、土砂崩れ、停電、断水、車中泊、避難所生活……。追い打ちをかけるように豪雨による土砂崩れ、家屋への浸水……。

困難な状況にあるが、全国からのいろいろな支援に助けられながら「前を向いて がまだせ熊本」をモットーに一歩ずつ復旧・復興に向け進んでいる。日本インテリア設計士協会本部総会<金沢大会>では、協会本部をはじめとして多くの支部や個人の方から励ましの言葉や義捐金をいただき、熊本支部一同大変感謝しております。本当にありがとうございました。

本協会の特色

熊本工業高校インテリア科では、平成22年からインテリア設計士資格取得に取り組まれている。専門技術の向上と専門資格取得で自信とプライドを持つことを念頭に指導されているという。例年35人前後の受験者で、合格率は70％前後である。検定試験の時期は雨と暑さに悩まされており、4年前は阿蘇の豪雨で大きな被害を受け、実際受験できない生徒もいた。また、熊本の独特の蒸し暑さの中、風通しの悪い製図室で扇風機やペットボトルで対応の試験、熱中症でダウンした生徒もいた。しかし、鉛筆を走らせる音しか聞こえない緊張した試験時間と、終了した時の生徒の達成感と充実感の様子はとてもさわやかで、全員合格すればいいなぁと心底思う瞬間である。今回は39人の受験者がいるが、熊本地震により、生活環境の変化に伴う心的影響を懸念している。

大分県に支部がないため、日本文理大の近藤先生の積極的な関わりにより、熊本支部で大半も含めて活動している。昨年は、日本文理大の10人に加え、新たに大分工業高校建築科から15人の受験者があり、しかも



全員合格という快挙をなし遂げた。今年は、受験者数は少なくなったが好結果が期待される。支部会員の内訳は、一般会員111人のうち1級11人、2級100人で

事務局：熊本市中央区新大江 3-14-56
佃 正義 内
〒862-0972 TEL. 096-385-1516
会長：山野勇治／事務局長：佃 正義

あるが、そのほとんどが平成22年度からの若い会員という構成となっている。工業高校生へのアプローチが熊本県インテリア設計士協会活性化に直結していると言える。

独自の取り組みについて

- 工業高校生ヘインテリア設計士受験をサポート
- 家具コンペ：9月中旬から12月初旬まで高校、専門学校、短大、大学に対し募集。これまで4回実施して、課題は「あそび心のある家具」が2回、「被災者のための避難生活家具」が2回となっている。例年60～80点の応募がある。最優秀賞、優秀賞2点、佳作3点程度を理事会の審査によって選んでいる。

今年度は熊本地震を受けて、昨年度と同様に「被災者のための避難生活家具」とする。●更新講習会：年度末の3月末頃、前年度初登録者に対し会員としての自覚を促すこと、会員の確認、会費納入の確認を目的としてインテリアに関する講義や実習を実施。

内容は、平成25年「3Dソフトの使い方(無料・3Dソフトのスケッチアップ使用)」、平成26年「インテリア模型1/20製作(caféの模型製作)」、平成27、28年「名刺入れの製作」



3Dソフトによる作品



名刺入れ

- ホームページ作成：<http://www.k-kis.com/>

世界特許取得

「炭素繊維シート状椅子構造体」

宮本さんは1939年生まれ、永年インテリア・プロダクトデザイン開発等に携わってこれましたが、定年を過ぎてしばらくしてから「何か後世に残るものを作りたい」と2003年に、生活に一番馴染み深い「椅子」に取り組まれました。

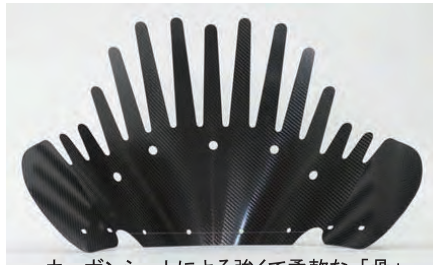
椅子は椅子でも「炭素繊維を使ったシート状椅子構造体の開発」を志しスタートされましたが、炭素繊維は日本が世界の生産量の70％を占める国の重要産業の一つであるがため企業のトップシークレットとされ、容易に情報を得ることは困難とされています。この開発においても炭素繊維の副資材メーカーから情報は一切受けられないまま、文字どおり暗中模索、手探りでの試作の繰り返しとなりました。

で、出来上がったのが、写真で紹介しているような椅子です。この時点で特許を申請されたのが着手後8年を経た2011年、そして14年に「シート状椅子構造体」の国内特許を取得、同15年には米国特許取得、引き続き欧州・中国には申請中でしたが今年16年、中国、欧州(ドイツ・イタリア・フランス)特許も取得できました。一見、何の変哲もないような椅子ですが、薄くて丈夫な「カーボンシート」が構造体になっているため、人の体を包み込むように座る姿勢に椅子の方からフィットし、長時間掛けていても疲れないうえ、炭素繊維には遠赤外線効果があり、リハビリにも役立つという不思議な椅子です。

業界で活躍するインテリア設計士



宮本 誠三 さん
1968 年登録
一般インテリア設計士 (0523)
㈱リブ 代表
大阪府インテリア設計士協会 所属



カーボンシートによる強くて柔軟な「骨」



販売されているカーボンチェア（本体と脚部の組み合わせ各種）

支部協会紹介のページ

TIS 鳥取県インテリア設計士協会

鳥取での取り組みは・・・

全国会員の皆様、いかがお過ごしですか？ 年度明けから地震、異常気象、噴火など自然からの厳しいメッセージが発せられているように感じます。

このたび本部から「支部協会紹介」の原稿依頼を受けました。私が支部長を仰せつかって4年が過ぎ5年目に入ったところです。会員数も役員も少ない我が支部において当初は当惑しておりました。現在は来年度本部総会をどう切り盛りするか思案中です。会場と宿泊先は抑えておりますのでご安心下さい。

さて、私の愚痴になるかもしれませんが、会員の活動をどうするか、また、この協会の紹介活動をどうするか、この二つを当初から考え続けております。この協会に入会したころは、活動内容などをよく理解もできませんでしたが、世間での評価もわかりませんでした。地元の内装事業者にも尋ねても認知されてなく、行き詰まりの状態となり……。で、この解決策について考えているときに、地元の内装事業者が運営している「鳥取県インテリア事業協同組合」があることを知りました。この事業組合と何かできることはないかと考え、この組合に掛け合いました。幸いに支部協会の監事をお願いしている井戸垣氏、清水氏の両氏が同協同組合の会員でもあり役員をされておられましたので、この事業組合の活動に参加させていただくことができました。支部の活動というよりは、むしろこちらの事業組合の勉強会に学生の希望者を連れて参加しているのが実情です。もう一つは島根県にもわずかですが会員がいっぱいます。この方たちにもこの会の活動を知らせる必要があると考えております。なかなか実行ができず日数ばかりが過ぎていき心苦しく思っております。しかし、県内の内装業者の方たちに「日本インテリア設計士協会」という団体があることを知っていただいたことは収穫です。中国地方の大手内装材企業にも名前を知っていただく機会ともなりました。まずは、来年度の本部総会<鳥取大会>を機に県内および近県にこの協会をアピールすることが大切と考え、今はその準備に専念することにしております。

つたない支部紹介となりましたが、来年度の総会で皆様のお越しをお待ちしております。

鳥取県支部 支部長 倉恒俊一



平成 27 年表彰式で

SJIT 通信編集後記

早いものでもう、九月です。今年の夏は暑かった！と、まだまだ過去形では済まされません。まだ厳しい残暑が続きますので、どうぞ体調管理にはお気を付け下さい。

ところで、今年は台風の発生が観測史上二番目に遅いと言われていましたが、いざ八月に入ると台風の大量発生でした。また、今年の10号は迷走台風で、一度南方面に下がったと思えば、力を溜めて戻ってくる始末。そして、観測史上初の太平洋側からの東北

この欄では順次各支部協会のご紹介を致します。
次はどこの支部協会が指名されるのか・・・ご準備ください！
未登場で、ご希望の支部はお申し出ください。

事務局：倉吉市福庭 854
鳥取短期大学 生活学科 住居・デザイン専攻 内
〒682-0013 TEL. 0858-26-1811 FAX. 0858-26-1813
会長：倉恒 俊一／事務局長：尾崎 せいこ

会員からのひとこと インテリア設計士の勉強をして 良かったこと、 役に立ったこと、 感謝です！

鳥取支部会員
岡崎 美歩さん
(二級インテリア設計士)



私は現在造園会社に勤めており、エクステリアプランナーとして設計・営業を担当しています。インテリアとエクステリアは建物の中と外という違いはありますが、住環境に携わる点、その他共通事項があります。例えば、インテリア設計士資格の目的に「より快適で安全かつ豊かで魅力的な生活空間の創造に寄与する」とあり、エクステリアプランナーの資格制度にも同様の文言があります。

私が豊かな生活を提案するエクステリアプランナーの資格を取得できたことは、エクステリアを学ぶ上でもインテリア設計受験勉強が基本になっています。学科試験内容はもちろん知識として必要です。特に実技試験は、ゾーニング・配置・動線計画・パース作成など、プランを組み立てる流れもまた共通していたため、勉強していたことが少なからず活かされています。インテリア設計士試験もまた、勉強している当時はまだ学生で、建築の授業以上の内容をさらに深め、インテリア（内装）に関してもさらに詳しい内容となり、試験までに必死にテキストの内容を頭に叩き込んで資格を取得することだけ考えて勉強していました。2級エクステリアプランナーの資格取得の勉強をしている時は、仕事に直結していることもあります。入社して間もない時期でしたので、植栽の配植計画や外構工事に使用する材料など、ほとんど分からない状態でテキストの内容を覚えて受験しました。使用材料の性能や施工性、植栽の配置の意味など、後になって仕事を通し、やっと理解したことも少なくありません。

知識の幅がプランの幅を決めるといっても過言ではないと思っており、どちらの資格も共通して「生活環境を提案する基礎」となっているのだと思います。

資格取得当初はあまり実感が沸きませんでしたが、今となってはインテリア設計士の勉強はまったく何も分からない状態から他人（お客様）の生活をイメージして、どのように良くしていくか、充実させるか、を提案するための第一歩になっていたと感じます。（有限会社 緑青園 エクステリアプランナー）

上陸となりました。異常気象が当たり前となった感のある昨今ですが、前例のない事象が多くて混乱します。

さて、リニューアルして3号目のSJIT通信2016年秋号は如何でしたか。楽しんでいただけましたでしょうか。支部協会の活動紹介、業界で活躍する会員紹介も続けてまいりますので、情報をすずんでお寄せください。

最後になりましたが、本号作成のためご協力いただきました皆さまにお礼申し上げます。次回は、春号です。お楽しみに！

SJIT通信編集室 編集担当・元山 ゆたか(京都支部)